

みよし風土記の丘ミュージアム 学習支援ガイド (小学校編)

資料館と風土記の丘は「主体的な学びのフィールド」



実物資料と学芸員は「対話的な学びのパートナー」



未知の歴史的な体験は「深い学びのエducator」

みよし風土記の丘ミュージアム (広島県立歴史民俗資料館)

ごあいさつ

展示室で何かを発見して感動したり、野外での体験活動に夢中になったりしている子供たち。その姿や声は社会教育・生涯学習に携わる私たちにも、遣り甲斐と大きな充実感を与えてくれます。

学校ではできない発見、味わえない感動、体験できない活動を提供し、ミュージアムという立場から子供たちの知的な学習を支援し、心の成長を促したい。主体的に考え、判断し、行動することができる子供たちの育成に寄与したい。このガイドは、こうした考えに基づいて実践している当館の学習支援事業を御紹介するものです。

御利用いただくことによって実践を積み重ね、その都度検証しながらより教育的効果が高いものへと改善し、みなさま方とともに子供たちの生きる力の育成や、郷土愛・アイデンティティの醸成に努めたいと考えています。ぜひ、御活用ください。

みよし風土記の丘ミュージアム（広島県立歴史民俗資料館）

みよし風土記の丘ミュージアムと学校教育

●みよし風土記の丘

史跡浄楽寺・七ツ塚古墳群や、重要文化財に指定されている江戸時代の民家、実際に体験できる復原古代住居などがあり、約 30ha もの広大で豊かな自然を五感で感じながら学習ができる歴史公園です。

●みよし風土記の丘ミュージアム（広島県立歴史民俗資料館）

考古資料による旧石器～奈良・平安時代までの歴史学習や、人々の暮らしや道具の学習、様々な歴史的体験など、学年や先生方の教育課程や目的に応じた学習ができる施設です。

●学校利用の実績

来館による利用と、当館からの出前による利用とがあり、県内各地の小学校に御利用いただけてきました。

●当館の学習支援がもたらす教育的効果（ご利用いただいた教職員の言葉から）

実物の資料と学習支援ツールを活用し学芸員と対話をしながら進める学習活動が、「課題・疑問の設定」→「課題の解決・発見」→「感動・納得」→「新たな課題・疑問の発生」という学習の連鎖を生み出し、深い学びにつながると言われます。

また、当館の学習支援の特徴である豊富な歴史体験プログラムを活用した学習は、児童が活動的に楽しく取り組めるだけでなく、一人一人の創意工夫や忍耐力、また集団での協力が必要となることから、豊かな心の育成や仲間づくりにも効果があると評価いただいています。

みよし風土記の丘ミュージアム・みよし風土記の丘



みよし風土記の丘ミュージアム



大昔の建物が体感できる
復原古代住居



昔の暮らしが体感できる
旧真野家住宅（重要文化財）



実物資料で歴史学習ができる常設展示室



自然あふれる風土記の丘（手前は七ツ塚古墳群の一部）

【撮影：前川俊清氏】

ご利用にあたって

学校利用の流れ

- ステップ1 **先生方の思いや発想**
子供たちにこんな学習や体験をさせたい！
↓
- ステップ2 **当館 HP で検索・学習支援ガイドを参照**
プログラムから選択
↓
- ステップ3 **電話での御連絡・ご相談**
ご希望やプログラムなどをお伺いして日時・内容を調整
↓
- ステップ4 **事前の打ち合せ**
担当の学芸員との学習内容等、当日の詳細な打ち合せ
御来館が困難な場合は電話・メールでも可能
↓
- ステップ5 **必要書類の提出**
来館の場合は「学校利用証明書」(HP からダウンロード)
出前の場合は「職員派遣申請書」(各校の様式で可)
↓
- ステップ6 **当日の御利用**
↓
- ステップ7 **事後の連携**
アンケートによって当館への要望等を提出(当日も可)
児童の学習成果や感想をお伝えください

利用の形態と経費

利用の形態と利用の例

- 教科学習による来館・出前
(例) 社会科等の授業としての御利用
- 校外での特別活動による来館・出前
(例) 遠足・社会見学・宿泊体験活動等での御利用
- クラブ活動による来館・出前
(例) 美術系のクラブ活動による御利用
- 保護者を含めた諸行事による来館・出前
(例) PTC 活動での御利用
- 特別支援学校・特別支援学級の学習活動による来館・出前
特別支援教室・不登校児童の学習活動による来館・出前
(例) 歴史的体験学習を中心にした御利用

依頼にかかる書類と経費

- 来館の場合：「学校利用証明書」(HP からダウンロード)を提出いただくことで教職員の入館料が免除となります。
- 出前の場合：「職員派遣申請書」(HP からダウンロード)を提出いただくことで出張に係る経費は不要となります。

大規模校のご利用

クラスごとに見学コースやプログラムを交代したりしながら御利用いただけます。まずは御相談ください。

学習支援プログラムのご紹介

「この土器でかい！」

「銅鐸を鳴らしてもいいん？」

プログラム① 「旧石器時代～奈良・平安時代の学習」 (社会科6年生) ～常設展示「ひろしまの原始・古代」の活用～



利用形態 来館授業

<主な活動の流れ>

- 挨拶・概要説明（一斉）
- 学習支援ツール「みよしふどきの丘まなぶっく①ー常設展示室編ー」を使い旧石器時代～奈良・平安時代の問題にチャレンジ（班別・個人）
 - 学芸員との対話による答合わせ・質問（一斉）



<おすすめポイント！>

問題に掲載されている資料を展示室の考古資料や復原資料の中から探し、観察したり考えたりして問題を解く主体的な学習です。また、学芸員との対話によって、学習を広げたり深めたりすることができます。

<利用案内>

- 時間：60分程度（希望によって調整できます）
- 人数：40人程度（常設展示室での最大人数）
- 費用：無料
- 準備物：筆記用具、バインダー（A4版）
- その他：学校利用証明書の提出（当日持参可）
- 風土記の丘の学習（プログラム②）や体験学習（プログラム⑤～⑩）との組み合わせによって、より学習効果が高まります



「ほんまにかぎ穴の形しとる！」 「入ってみ、涼しいよ！」

プログラム② 「古墳や古代住居の学習」 (社会科6年生) ～みよし風土記の丘「史跡浄楽寺・セツ塚古墳群、復原古代住居」の活用～



利用形態 来館授業

<主な活動の流れ>

挨拶・概要説明(一斉)

- 学習支援ツール「みよしふどきの丘まなぶっく②ー風土記の丘編ー」を使い、古墳や建物などを見つけて問題にチャレンジ(一斉・班別)
- 学芸員との対話による答合わせ・質問(一斉)



<おすすめポイント！>

普段は立ち入りが禁止されている古墳に登ったり竪穴住居や高床倉庫に入ったりして、風土記の丘でしか味わえない感動の中で学習を深めます。また、まなぶっく②は利用時間に合わせた学習ができるとともに、楽しみながら学習を深めるウォークラリー形式の実施がおすすめです。



<利用案内>

時間：60～120分程度(希望によって調整できます)

人数：80人程度(教職員の引率・監督が必要です)

費用：無料

準備物：筆記用具、バインダー(A4版)、野山を歩ける服装

その他：学校利用証明書の提出(当日持参可)

人数が多い場合はクラスを分け、常設展示の学習(プログラム①)や体験学習(プログラム⑤～⑩)との交代で実施することも可能

「あっ！教科書と同じアイロン！」 「何でロウソクが傾かんのん?!」

プログラム③ 「古い道具や暮らしの学習」 (社会科3・4年生)

～暮らしにかかわる民俗資料の活用～



利用形態 来館授業 出前授業 (アウトリーチ)

<主な活動の流れ>

- 挨拶・概要説明 (一斉)
- 明治時代頃から現代までの暮らしの道具の学習 (班別・個人)
(道具の観察・変化の読み取り→暮らしの移り変わりを考察)
- 児童相互の発表・質疑、学芸員による対話的な解説 (一斉)

<おすすめポイント！>

古い道具を実際に手に取って観察して「道具と対話」したり、調べたことをお互いに発表したりすることで、主体的・対話的で深い学びができます。また、道具を実際に使ってみることで、昔の人々の気持ちなどにも思いをはせる学習ができます。当館作成の学習プリントを使い「子供学芸員」になりきって学習することもできます。



<利用案内>

- 時間：45～90分程度 (希望によって調整できます)
- 人数：40人程度
- 費用：無料
- 準備物：筆記用具、バインダー (A4版)
- その他：学校利用証明書、あるいは派遣申請書の提出
ちょっと昔の炊飯体験 (プログラム⑩) との組み合わせによってより学習効果が高まります



「ふねが川を走る?!」 「川は大切なんじゃね！」

プログラム④ 「地域の地理・歴史と人々の暮らしの学習」 (社会科4年生)

～河川にかかわる民俗資料の活用～



利用形態

来館授業

出前授業(アウトリーチ)

<主な活動の流れ>

挨拶・概要説明(一斉)

→ 川を使った輸送や漁撈などについての学習(一斉・班別)

(昔の写真や実際の漁具の観察→地域や人々の暮らしと川の間関係を考察)

→ 児童相互の発表・質疑、学芸員による対話的な解説(一斉)

※河川を始めとする自然がもたらす災害と防災の歴史の学習も可能です

<おすすめポイント!>

江の川流域で使われていた魚を獲る漁具や、川舟輸送にかかわる資料を観察したり、昔の写真を見たりすることで、川によって人々の暮らしや地域が支えられてきたことを実感できます。また、川(海)舟→列車→トラック・バスというように輸送手段が変わり、それに伴って地域や人々の暮らしが移り変わっていった様子を学習することができます。

<利用案内>

時間: 45~90分程度(希望によって調整できます)

人数: 最大120人(来館の場合)

費用: 無料

準備物: 筆記用具、バインダー(A4版)

その他: 学校利用証明書、あるいは派遣申請書の提出

「煙は出たのに・・・」

「ぼくの心に火がつかしました！！」

プログラム⑤ 「古代の火おこし体験」 (中学年以上向き)

～次第に熱が出る！回転式摩擦法による発火体験～

利用形態

来館授業

出前授業(アウトリーチ)



<主な活動の流れ>

挨拶・概要説明(一斉)

- 学芸員による火と人の暮らしの歴史についての説明(一斉)
- 回転式摩擦法(4種類)による火おこし体験(班別)
- まとめと感想(一斉)

<おすすめポイント！>

簡単な方法ですが、いざチャレンジすると火種はなかなかできません。「もみきり」「弓きり」「紐きり」など方法を変えてチャレンジし、工夫と努力を重ねて協力しながら懸命に取り組む子供たちの心に火が付く熱い体験です。発火に成功した火を使い、炊飯体験(プログラム⑨・⑩)へと移行することによって感動と学習効果を高めることができます。

<利用案内>

時間：30～60分程度(希望によって調整できます)

90～120分程度(炊飯体験を組み合わせた場合)

人数：40人程度

費用：無料

準備物：タオル、軍手、お米(炊飯体験を組み合わせた場合)

その他：学校利用証明書、あるいは派遣申請書の提出



「先生見て！○○君すごいよ！」 「△△さん上手いじゃない！」

プログラム⑥ 「土器・埴輪づくり体験」 (高学年向き)

～思考と表現力が求められる！造形体験～



利用形態 来館授業 出前授業 (アウトリーチ)

<主な活動の流れ>

挨拶・概要説明 (一斉)

- 当館作成の学習プリントを使い、実物の土器を観察して当時の土器の作り方を考察した上で学芸員が解説 (一斉)
- 粘土紐巻き上げ法による土器・埴輪づくり体験 (個人)
- まとめと感想 (一斉)

<おすすめポイント！>

粘土を使った造形作業は一人一人の技術や創意工夫が必要で、主体的な思考と表現力を養う体験活動ができます。普段は気づかない「潜在能力」に自他ともに気づくこともあり、情操教育や仲間づくりにも効果があると言われる体験活動です。乾燥させた後にプログラム⑦へ移行すれば、焼き物として完成させることができます。また、当館で児童の作品を多くの方に公開する展示会も開催できます。

<利用案内>

時間：90～120分程度 (希望によって調整できます)

人数：40人程度

費用：400円程度 (粘土1kgの代金、学校から販売業者へ支払い)

準備物：筆記用具、タオル、持ち帰り用の容器 (来館授業の場合)

その他：学校利用証明書、あるいは派遣申請書の提出



「割れずに焼けるかなあ」

「かまのなかが真っ赤じゃ！」

プログラム⑦ 「弥生時代の土器焼き体験」 (高学年向き)

～大昔の方法で作品を仕上げる！焼成体験～



利用形態

来館授業

出前授業(アウトリーチ)

<主な活動の流れ>

挨拶・概要説明(一斉)

- 実物の土器を観察して当時の土器の焼き方を考察した上で学芸員が解説(一斉)
- 土器を藁と土で覆う簡易な窯をつくり、火入れを行う(一斉)
- 焼き上がった土器を取り出す → まとめと感想(一斉)

<おすすめポイント！>

プログラム⑥で作った土器や埴輪は、「覆い焼き」と呼ばれる弥生時代と同じ方法で焼き上げることをお勧めします。土器や薪に藁をかぶせてその上に土を塗る作業には協力が欠かせません。煙は出るものの炎はほとんど上がらないため、校庭の一部を使って行うことができます。焼き上げに3・4時間かかるので、その間は他の学習をすることも可能です。

<利用案内>

時間：4・5時間(焼成中は当館の職員が付ききりで管理します)

人数：40人程度(一つの窯で焼ける土器はおよそ20人分です)

費用：無料

準備物：軍手、バケツ、花壇や畑のやや粘り気がある土、水、(薪、藁)

その他：学校利用証明書、あるいは派遣申請書の提出、消防署への届け、薪や藁の準備が困難な場合など、詳細については御相談ください

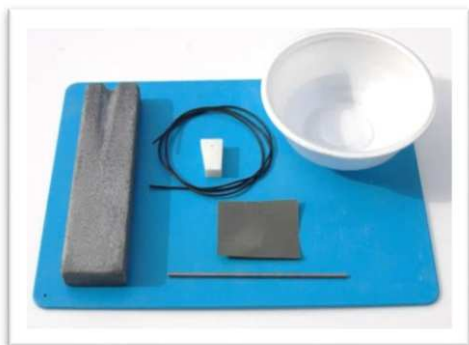


ミュージアムでの作品展示会がオススメ！

「どうしたら丸くできるん？」 「これはきっと心の教育に素晴らしい！」

プログラム⑧ 「勾玉づくり体験」 (中学年以上向き)

～自己や物と対話する！古代の勾玉造形体験～



利用形態 来館授業 出前授業 (アウトリーチ)

<主な活動の流れ>

挨拶・概要説明 (一斉)

- 当館作成の学習プリントを使い、古代の人々が勾玉を作った目的や作り方などを考察した上で、学芸員が解説 (一斉)
- 古代と同様に砥石で石材を削る方法での勾玉づくり体験 (個人)
- まとめと感想 (一斉)

<おすすめポイント！>

六面体の角ばった「滑石(かっせき)」を、砥石で削ったりする方法で丸みのある勾玉に成形していく作業のため、自らの創意工夫や忍耐力が必要となり、そこには自分自身の心との対話、あるいは石材・道具との対話が生じます。豊かな心の育成・情操教育にも効果がある体験活動です。

<利用案内>

時間：60～90分程度 (希望によって調整できます)

人数：80人程度

費用：200円程度 (石材・紐の代金)

準備物：筆記用具、タオル

その他：学校利用証明書、あるいは派遣申請書の提出
石材・紐の代金は学校から販売業者へ支払い



「ほんまにご飯炊けるん!？」

「一気に炊いてきたで！」

プログラム⑨ 「古代の炊飯体験」 (6年生、高学年向き)

～疑問が感動へ！弥生時代の炊飯体験～



利用形態

来館授業

出前授業(アウトリーチ)

<主な活動の流れ>

挨拶・概要説明(一斉)

- お米を研ぎ適量の水とともに復原した弥生土器に入れる(班別)
- 薪に着火し土器を加熱(班別)
- 視覚・嗅覚等によって炊飯状況を判断しながら火加減を調整(班別)
- 蒸らし・試食(班別) → まとめと感想(一斉)

<おすすめポイント!>

土器を使った炊飯は、ほとんどの作業が未知の体験となるため、感覚をフルに使い状況変化に応じた判断と対応が求められる体験です。プログラム⑤「古代の火おこし体験」を併用すれば、より大きな感動と学習効果が期待できます。

<利用案内>

時間: 90~120分程度(試食を含みます)

人数: 40人程度(同時に最大3グループまでの炊飯となります)

費用: 無料

準備物: お米(1グループ3合)、試食用の器・箸、筆記用具、タオル

その他: 学校利用証明書、あるいは派遣申請書の提出

プログラム①「旧石器時代~奈良・平安時代の学習」、プログラム⑤「古代の火おこし体験」との併用も可能



「うわっ！煙、くさっ！」

「今まで食べた中で一番おいしい！！」

プログラム⑩ 「ちょっと昔の炊飯体験」 (3年生、中学年以上向き)

～初めての香りと味！五感をフルに使う土鍋と七輪の炊飯体験～



利用形態

来館授業

出前授業(アウトリーチ)

<主な活動の流れ>

挨拶・概要説明(一斉)

- 学芸員の解説による、炊飯の道具や暮らしの移り変わりの学習(一斉)
- お米を研ぎ適量の水とともに土鍋に入れる(班別)
- 七輪に炭火をおこして土鍋をかけ、判断しながら炊き上げる(班別)
- 蒸らし・試食・片付け(班別) → まとめと感想(一斉)

<おすすめポイント！>

生活の中で火を燃やすことがほとんどない児童たちにとって、とても「新鮮」に感じられる体験です。薪や豆炭が燃える炎の色や煙の臭い、土鍋から聞こえる音、吹き上がる湯気の匂い、自分たちで炊き上げたご飯の香りと味。五感を使ってそれらを感じ取り、現在の自分たちの暮らしと昔の暮らしの違いを体感できる **オススメ** の学習活動です。

<利用案内>

時間：90～120分程度(試食・片付けを含みます)

人数：80人程度(同時に最大10グループまでの炊飯となります)

費用：無料

準備物：お米(1グループ3合)、試食用の器・箸、筆記用具、タオル

その他：学校利用証明書、あるいは派遣申請書の提出

プログラム③「古い道具や暮らしの学習」との併用が効果的



子供たちと学芸員をつなぐオンライン！

学校・教室とミュージアムをリアルタイムでつなぎ、子供達のなぜ？や先生方の思いにおこたえます！

みよし風土記の丘ミュージアムでは、学芸員がお話ししながら子供達や先生方の疑問に答えるオンラインサービスを行っています。

- ・「博物館に行く時間や、出前授業に使う時間はなかなか確保できないけど、子供達に学芸員の話聞かせたい！」
- ・「歴史新聞づくりのために、学芸員にインタビューさせたい！」

授業にも先生方の教材研究にもお気軽に御利用いただけるコンテンツです。ぜひ御活用ください。

たとえば、こんな思い…

子供達の主体的な学びに、オンライン授業を活用したい！

博物館を利用する事前学習をさせたい！

博物館に行って実物を見せたいけど、なかなか実現できない…

教材研究したいけど、博物館にヒントはないかしら…

「市や町とくらしの移り変わり」「ひろしまの資料で学ぶ原始・古代」
「博物館学芸員の仕事」など・・・
まずはご相談を！

〈利用方法〉

御利用の目的・内容や時間などを電話やメールで御相談ください。

教職員の方々は、こちらのフォームからお申込みできます。

当館HP > おうちでチャレンジ! > みよし風土記の丘「集まれ！歴史博士！」

「昔の道具の使い方を聞きたい」「古墳時代の話を聞いてみたい」といった要望に、学芸員が実物資料を使いながらこたえます。



※実際の授業ではオンラインアプリ「Zoom」を使用します。

(会議アプリ「Webex」も使用可能です。)

「こんな御利用 どうでしょう?!」

その他の御利用 みよし風土記の丘ミュージアムからの御提案

ここにご紹介するのは、これまで比較的御利用が少なかったもの、あるいは教職員の方々からリクエストいただいたものです。既に実施しているものもありますが、みなさま方とともにブラッシュアップを図りたいプログラムとして提案させていただきます。

提案① キャリア学習（博物館学芸員の仕事）

博物館や学芸員の役割・仕事について、児童による職業インタビューなどによって展開します。また、レプリカ資料などを使った「梱包」「修復・復元」「展示・解説」など、学芸員の仕事の体験も可能です。

提案② 「一日まるごと博物館」（ミュージアムと風土記の丘を学校・教室にした学習）

当館の研修室などを拠点にして、児童が館内の展示室や風土記の丘などを回り、課題を設定しその解決に取り組んで発表する学習です。学習成果を壁新聞などにまとめ、当館で展示・公開することも可能です。

提案③ 教科を横断した学習

歴史や文化を中心とした社会科、風土記の丘の豊かな自然を活用した理科、文化や自然を文学的に表現する国語科、計測や円周率によって古墳の大きさを求める算数科、食育や生活道具体験を活用した家庭科。こうした教科を組み合わせた学習も可能です。

提案④ 博学連携教職員ワークショップ（もっと有効な学習支援をめざして）

教職員の方々に当館の学習支援プログラムを体験していただくとともに、みなさま方のご意見をお伺いして、より教育的効果の高いプログラムへとブラッシュアップを図る博学協同のワークショップです。

インフォメーション

平成30～令和4年度にご利用いただいた小学校（数字はプログラムNo.）

広島県立 広島中央特別支援学校・小学部（①・②）、西条特別支援学校（⑧）
安芸太田町立 上殿小学校・筒賀小学校・戸河内小学校（合同利用①・②）
尾道市立 栗原小学校（オンライン）、栗原北小学校（①・②・③）、美木原小学校（⑥宿泊体験）、御調西小学校（⑤・⑨）
北広島町立 壬生小学校（①・⑤・⑦）
庄原市立 板橋小学校（⑤）、小奴可小学校（⑨）、口和小学校（⑥）、庄原小学校（①・②・⑧）、総領小学校（①・②・⑥宿泊体験）、高小学校（①・②・⑧）、高野小学校（⑥・⑦・③・⑩）、東城小学校（⑥・⑦）、永末小学校（⑧）、東小学校（③・⑩）、比和小学校（⑥・⑦）、峰田小学校（①・②・⑤・⑧）、八幡小学校（①・⑧）、山内小学校（③・⑤・⑥・⑦・⑨・⑩）
神石高原町立 三和小学校（①・②）、油木小学校（①・②・⑧・⑩）
竹原市立 竹原小学校（⑤・⑧）、竹原西小学校（⑧）
廿日市市立 宮島小学校（⑤）
東広島市立 板木小学校（①・②・⑩）、木谷小学校（⑧）、郷田小学校（①・②・⑤）、西城小学校（③・⑧）、高美が丘小学校（③・⑩）
広島市立 飯室小学校（①・②）、可部小学校（①・②・⑥）、伴南小学校（①・②）、広島インターナショナルスクール（①・②・⑧・オンライン）、広島特別支援学校（⑥）、深川小学校（①・②）
福山市立 新涯小学校（オンライン）、常石ともに学園（③・⑤・⑩）、西深津小学校（①宿泊体験）、光小学校（③・⑥・⑦・⑩）
府中町立 府中東小学校（③・⑩）
三原市立 幸崎小学校（⑥・⑦）、大和小学校（①・⑧・⑩）、田野浦小学校（⑥PTC）、本郷西小学校（⑥・キャリア学習）、南小学校（③・⑩）
三次市立 青河小学校（③・⑩）、粟屋小学校（①・②・③・⑩）、神杉小学校（①・②・③・⑥・⑦・⑩）、河内小学校（①・②・⑤・⑩・⑧宿泊体験）、川地小学校（①・②・③・⑩）、川西小学校（①・②・③・⑥・⑦・⑩）、吉舎小学校（地域の古墳学習）、君田小学校（②・③・⑤・⑧・⑩）、甲奴小学校（①・②・⑤・⑩）、作木小学校（①・②）、酒河小学校（①・②・③・⑩）、田幸小学校（①・②・③・⑩・オンライン）、十日市小学校（①・②・③・⑩）、小童小学校（①・②）、布野小学校（キャリア学習）、三次小学校（①・②・③・⑩）、みらさか小学校（①・②）、三和小学校（③）、八次小学校（①・②・③・⑥・⑩）、八幡小学校（③・⑩）、和田小学校（①・②・③・⑥・⑦・⑩）

学校教育にかかわる入館料等の免除

※学校教育活動として入館する児童・生徒、及びその引率者は、常設展・特別企画展の入館料が免除になります。
※ひろしま教育ウイーク期間中は、児童・生徒の入館料が免除になります。
※学校教育活動として依頼される出前授業（アウトリーチ）にかかる旅費等の経費は不要です。

開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝・休日の場合は翌日以降の最初の平日が休館となります。）



【問合わせ・申込み】みよし風土記の丘ミュージアム

〒729-6216 三次市小田幸町122
TEL:0824-66-2881 FAX:0824-66-3106
Email: rmsgakugei@pref.hiroshima.lg.jp
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekimin/>



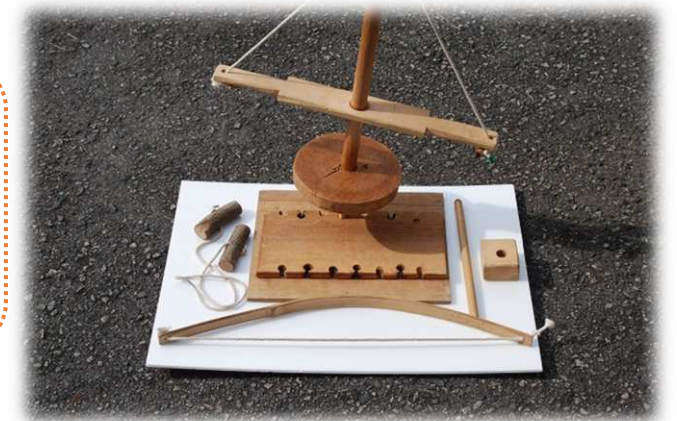
古代の方法で火をおこしてみよう！

()年()組()番 名前()

🔥 火おこしについて考えてみよう！

どのようにしたら火がおきるかな？
(右の写真をヒントに考えてみよう)

理由を書いてみよう



🔥 昔の人たちは、どのようなことに火を使っていたのだろう？

今の暮らしではどのようなことに火を使うかな？



🔥 火おこしにチャレンジ！

火おこしのポイントを書いてみよう！

ふりかえり～わかったこと、もっと知りたいことなど～

火がおきるまでにかかった時間

分





土器を作ってみよう！

()年()組()番 名前()



昔の人たちは、どのようなことに土器を使っていたのだろう？

Empty dashed box for writing answers.

日本で見つかった最古の土器は…

約()年前のもの！



どのように土器を作っていたのだろう？

①土器の表面に残されたナゾ！

土器の表面にある溝みぞのような段と、でこぼこをヒントに土器の作り方を考えてみよう！

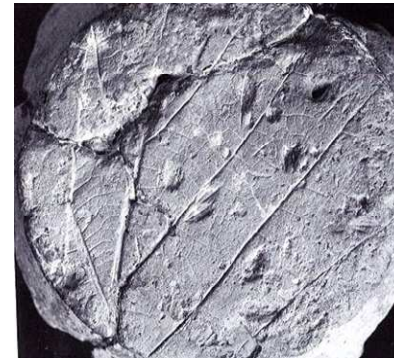


縄文土器

Empty dashed box for writing answers.

②土器の底に残されたナゾ！

底にある筋すじのような線と、「つぶつぶ」にへこんでいるものはなんだろう？



土器の底(外側)

Empty dashed box for writing answers.

工夫したこと、がんばったこと

ふりかえり ~わかったこと、もっと知りたいことなど~





まが玉を作ってみよう！

()年()組()番 名前()

① まが玉について考えてみよう！

なにの形をあらわしているのかな？

どんなことに使われていたのかな？

② まが玉の作り方と道具を見てみよう！

①大きな石から、
まが玉を作るための石をわる

②細かくわって、
まが玉の形に近づける

③砥石^{といし}でけずって、
形を整える

④穴を開けて、みがいて
仕上げます

完成！



まが玉の材料は、石のほかに
ガラスや土があります。

シカの角などを使って
周りをていねいにわります。



← ()で
けずって形を整え
ます。

穴あけには、()の針^{はり}や
()の針^{はり}を使います。

工夫したこと、がんばったこと

ふりかえり～わかったこと、もっと知りたいことなど～





土器でご飯をたいてみよう！

()年()組()番 名前()



すいはんが始まったころの暮らしを見てみよう！

右の絵を見て、気づいたことを書こう



()時代の暮らしの様子

古代の人達も食べていた
お米の一種



土器すいはんにチャレンジ！



この土器の表面の黒いものは…
()



弥生土器

火からおろすタイミングは…

土器でご飯をたくと、

分

かかった！

土器でたいたご飯の感想は？

ふりかえり～わかったこと、もっと知りたいことなど～





土なべでごはんをたいてみよう！

()年()組()番 名前()

 土なべすいはんの道具を見て、今のすいはんきと同じところ・ちがうところを考えてみよう！



①



②



③

〈道具の名前〉

① ()

② ()

③ ()

今のすいはんきと同じところ

今のすいはんきとちがうところ

 土なべすいはんにチャレンジ！

①火をうまくつけるコツは？

②火からおろすタイミングは？

ミュージアムの人に
聞いてみよう！



土鍋でたいた^{はん}ご飯の感想は？

工夫したこと、がんばったこと

土なべでごはんをたくと、 分 かかった！

ふりかえり～わかったこと、もっと知りたいことなど～

